

**2026年度
グローバル教育センター
(現地研修プログラム)
講義概要(シラバス)**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2026/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目

〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目

〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs

〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ

〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル

〈グ〉：グローバル・オープン科目

〈実〉：実務経験のある教員による授業科目

〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン

〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室

短期語学研修（英語）【A8900】 春季短期語学研修（英語）〔松本 悟〕 スプリングセッション/Spring Session ...	1
短期語学研修（朝鮮語）【A8903】 春季短期語学研修（朝鮮語）〔松本 悟〕 スプリングセッション/Spring Session	2
国際インターンシップ【A8904】 春季国際インターンシップ〔松本 悟〕 スプリングセッション/Spring Session	3
国際ボランティア【A8905】 春季国際ボランティア〔松本 悟〕 スプリングセッション/Spring Session	4
短期語学研修（英語）【A8906】 夏季短期語学研修（英語）〔松本 悟〕 サマーセッション/Summer Session	5
短期語学研修（朝鮮語）【A8910】 夏季短期語学研修（朝鮮語）〔松本 悟〕 サマーセッション/Summer Session .	6
国際インターンシップ【A8911】 夏季国際インターンシップ〔松本 悟〕 サマーセッション/Summer Session ...	7
国際ボランティア【A8912】 夏季国際ボランティア〔松本 悟〕 サマーセッション/Summer Session	8

OTR900LF（その他 / Others 900）

春季短期語学研修（英語）

松本 悟

開講時期：スプリングセッション/Spring Session | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(English)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、英語圏の本学協定大学および付属の外国語教育機関が提供するプログラム（オンラインプログラムを含む）に参加して、英語学習および異文化体験学習を行う。学生はプログラム内の学習において、英語運用能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に英語力を応用し、異文化を実体験することにより、異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は英語学習初級者および海外渡航経験のない学生も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に付ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、2週間以上に亘る週20時間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する（一部ブレイスメントテストを実施しない研修先あり）。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。提出された研修報告書に対して適切なフィードバックが行われる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1～2回	事前オリエンテーション（1～2回の実施）	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。英語でコミュニケーションを取ることに慣れるトレーニングを行う。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20時間以上の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

（オンラインプログラムの場合）オンラインでの通信環境およびOfficeソフト等による資料作成が可能なパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

During the spring break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture (including online programs). This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【Learning Objectives】

This program is open to students with no previous experience of contacting other cultures abroad or those who want to learn English from the beginners' level. Through this program, students will improve their language skills and gain a better understanding of other cultures, thereby acquiring the basic skills to become global human resources.

It is hoped that the program will motivate students to take on the challenge of more advanced study abroad, such as long-term study abroad.

【Learning activities outside of classroom】

This will be instructed by each program site. Students should keep records as appropriate so that they can write a final report after the completion of the program.

The total time for preparation and review should be approximately 40 hours.

【Grading Criteria /Policies】

Students will be comprehensively evaluated on the basis of certificate and transcript which should be issued to students who actively participated in the program for the entire period and the content of the final report, and the members of the committee of Global Education Center will discuss whether they can earn credits. Based on the evaluation results, the faculty committee of the faculties to which the students belong will determine whether they can earn credits. Students who wish to earn credits must apply to the Global Education Center in advance.

The number of credits and whether or not they can be counted as graduation credits vary depending on the faculty, so make sure to check with the faculty beforehand. (Course registration and grading for the program will be done in the semester following the participation, so fourth-year students who participated in the spring intensive program will not be eligible to earn credits.)

OTR900LF（その他 / Others 900）

春季短期語学研修（朝鮮語）

松本 悟

開講時期：スプリングセッション/Spring Session | 単位数：単位

科目名（英語）：Spring Intensive Language Course(Korean)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、朝鮮語圏の本学協定大学および付属の外国語教育機関が提供するプログラム（オンラインプログラムを含む）に参加して、朝鮮語学習および異文化体験学習を行う。学生はプログラム内の学習において、朝鮮語運用能力を高めることに、プログラム外においても実践的に朝鮮語力を応用し、異文化を実体験することにより、異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は朝鮮語学習初級者および海外渡航経験のない学生も参加が可能であり、学生はこの研修を通して語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に付ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、2週間以上に亘る週20時間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレースメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。提出された研修報告書に対して適切なフィードバックが行われる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1～2回	事前オリエンテーション（1～2回の実施）	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。朝鮮語でコミュニケーションを取ることに慣れるトレーニングを行う。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20時間以上の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季短期語学研修に参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】

（オンラインプログラムの場合）オンラインでの通信環境およびOfficeソフト等による資料作成が可能なパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

During the spring break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture (including online programs). This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【Learning Objectives】

This program is open to students with no previous experience of contacting other cultures abroad or those who want to learn Korean from the beginners' level. Through this program, students will improve their language skills and gain a better understanding of other cultures, thereby acquiring the basic skills to become global human resources.

It is hoped that the program will motivate students to take on the challenge of more advanced study abroad, such as long-term study abroad.

【Learning activities outside of classroom】

This will be instructed by each program site. Students should keep records as appropriate so that they can write a final report after the completion of the program.

The total time for preparation and review should be approximately 40 hours.

【Grading Criteria /Policies】

Students will be comprehensively evaluated on the basis of certificate and transcript which should be issued to students who actively participated in the program for the entire period and the content of the final report, and the members of the committee of Global Education Center will discuss whether they can earn credits. Based on the evaluation results, the faculty committee of the faculties to which the students belong will determine whether they can earn credits. Students who wish to earn credits must apply to the Global Education Center in advance.

The number of credits and whether or not they can be counted as graduation credits vary depending on the faculty, so make sure to check with the faculty beforehand. (Course registration and grading for the program will be done in the semester following the participation, so fourth-year students who participated in the spring intensive program will not be eligible to earn credits.)

OTR900LF（その他 / Others 900）

春季国際インターンシップ

松本 悟

開講時期：スプリングセッション/Spring Session | 単位数：1
単位

科目名（英語）：International Internship (Spring)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、国外の本学協定校、民間企業、NGO 団体に赴任し、2 週間から 4 週間程度の実務に関わる現場研修プログラム（オンラインプログラムを含む）を行う。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なのかを考える能力を身に付けることを目的とする。詳細はグローバル教育センター HP (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) にて確認すること。

【到達目標】

本コース修了時までに、学生は国際ビジネス／教育／協力等の分野・構造・意義・課題に対する理解を深め、その知見を深化させるとともに、実践的な問題解決能力を習得することが期待される。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップ／ボランティアの参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。また学生は実践的な語学力の向上、ビジネスマナーの理解、研修先（国）の文化・歴史・宗教・習慣等に関する理解を深めることに努める。プログラムでは、研修先にて事前・事後研修を含んで約 1 週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計 60 時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。研修参加後は研修報告書を作成するとともに、事後報告会では他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、国際学生活動支援プロジェクト担当教員からフィードバックを受ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第 1 回	事前オリエンテーション	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。研修参加の目的・達成目標を言語化し、研修中に取り組む課題についてブラッシュアップを図る。
第 2～13 回	プログラムへの参加	各自、研修先にて事前・事後研修を含んで約 1 週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計 60 時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。
第 14 回	事後報告会	設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。また他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、多様なフィードバックを得る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。プログラム参加前には、研修期間中に自身で取り組む課題を設定すると同時に、研修先（国・地域）、受入先（企業・団体）の文化・歴史・宗教・習慣等と業務内容・職務特性について情報収集し項目別にまとめておく。プログラム終了後は、設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。事後報告会については、場合により共同報告を行うため、他の参加者とも情報交換をしながら準備を進める。準備時間は合計 10 時間、復習時間は合計 5 時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加することで研修先から発行される修了証と、研修報告書および事後報告会の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部に確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季プログラムに参加した 4 年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022 年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として 60 単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

Students will be assigned to an our partner university, a private company or NGO outside of Japan during the spring break for two to four weeks of practical field training, including online training programs. Through this experience, students will acquire the ability to think about how they should apply the knowledge they have acquired in their studies to international society and what is necessary for them in the future.

Please check the Global Education Center website (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) for details.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to gain an understanding of the field, structure, significance, and challenges of international business, deepen their understanding of international business, and acquire practical problem-solving skills.

【Learning activities outside of classroom】

At least 10 hours of preparation and at least 5 hours of review are required for the activities. Prior to the implementation of the program, set the tasks to be tackled through the program, and at the same time, organize in an itemized form what you have researched in advance about the characteristics of the country (region), the host company (organization), and the type of work and duties. During the program, students should summarize their daily activities by item. At the end of the program, students will submit a report on their activities, summarizing the status of their achievement of the set tasks (results), future tasks and specific ways to overcome them, and post-program surveys and research on their interests gained through the activities.

【Grading Criteria / Policies】

In the International Student Activity Support Project, the Global Education Center decides whether or not the student deserves credit based on a comprehensive evaluation of the certificate issued by the host company or organization, the content of the activity report, and participation in the reflection seminar. Based on the results of the evaluation, the faculty committee will decide whether the student deserves credit.

OTR900LF（その他 / Others 900）

春季国際ボランティア

松本 悟

開講時期：スプリングセッション/Spring Session | 単位数：1
単位

科目名（英語）：International Volunteer (Spring)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春季休暇中に、NGO団体や本学の協定校で行われるボランティア活動（オンラインプログラムを含む）に参加し、現地で必要とされている支援活動に携わる。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なかを考える能力を身に付けることを目的とする。詳細はグローバル教育センターHP (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) にて確認すること。

【到達目標】

本コース修了時までに、学生は国際ビジネス／教育／協力等の分野・構造・意義・課題に対する理解を深め、その知見を深化させるとともに、実践的な問題解決能力を習得することが期待される。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップ／ボランティアの参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。また学生は実践的な語学力の向上、ビジネスマナーの理解、研修先（国）の文化・歴史・宗教・習慣等に関する理解を深めることに努める。プログラムでは、研修先にて事前・事後研修を含んで約1週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計60時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。研修参加後は研修報告書を作成するとともに、事後報告会では他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、国際学生活動支援プロジェクト担当教員からフィードバックを受ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1回	事前オリエンテーション	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。研修参加の目的・達成目標を言語化し、研修中に取り組む課題についてブラッシュアップを図る。
第2～13回	プログラムへの参加	各自、研修先にて事前・事後研修を含んで約1週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計60時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。
第14回	事後報告会	設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。また他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、多様なフィードバックを得る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。プログラム参加前には、研修期間中に自身で取り組む課題を設定すると同時に、研修先（国・地域）、受入先（企業・団体）の文化・歴史・宗教・習慣等と業務内容・職務特性について情報収集し項目別にまとめておく。プログラム終了後は、設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。事後報告会については、場合により共同報告を行うため、他の参加者とも情報交換をしながら準備を進める。準備時間は合計10時間、復習時間は合計5時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加することで研修先から発行される修了証と、研修報告書および事後報告会の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部に確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされるため、春季プログラムに参加した4年生は単位認定の対象外となる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

Students will participate in volunteer activities (including online programs) conducted by NGOs and our partner universities during the spring break and engage in support activities needed locally. Through this experience, the program aims to help students acquire the ability to think about how they should apply the knowledge they have gained through their academic studies in an international society and what is necessary for them in the future.

Please check the Global Education Center website (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) for details.

【Learning Objectives】

Students will immerse themselves in the field of international volunteerism, gain an understanding of the structure, significance, and challenges of the program, deepen their understanding of international volunteerism, and acquire practical problem-solving skills.

【Learning activities outside of classroom】

At least 10 hours of preparation and at least 5 hours of review are required for the activities. Prior to the implementation of the program, set the tasks to be tackled through the program, and at the same time, organize in an itemized form what you have researched in advance about the characteristics of the country (region), the host company (organization), and the type of work and duties. During the program, students should summarize their daily activities by item. At the end of the program, students will submit a report on their activities, summarizing the status of their achievement of the set tasks (results), future tasks and specific ways to overcome them, and post-program surveys and research on their interests gained through the activities.

【Grading Criteria /Policies】

In the International Student Activity Support Project, the Global Education Center decides whether or not the student deserves credit based on a comprehensive evaluation of the certificate issued by the host company or organization, the content of the activity report, and participation in the reflection seminar. Based on the results of the evaluation, the faculty committee will decide whether the student deserves credit.

OTR900LF（その他 / Others 900）

夏季短期語学研修（英語）

松本 悟

開講時期：サマーセッション/Summer Session | 単位数：単位
科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(English)
曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
備考（履修条件等）：
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、英語圏の本学協定大学および付属の外国語教育機関が提供するプログラム（オンラインプログラムを含む）に参加して、英語学習および異文化体験学習を行う。学生はプログラム内の学習において、英語運用能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に英語力を応用し、異文化を実体験することにより、異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は英語学習初級者および海外渡航経験のない学生も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることによって、グローバル人材としての基礎的な素養を身に着ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、2週間以上に亘る週20時間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレイスメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する（一部ブレイスメントテストを実施しない研修先あり）。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。提出された研修報告書に対して適切なフィードバックが行われる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1～2回	事前オリエンテーション（1～2回の実施）	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。英語でコミュニケーションを取ることに慣れるトレーニングを行う。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20時間以上の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部に確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

（オンラインプログラムの場合）オンラインでの通信環境およびOfficeソフト等による資料作成が可能なパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

During the summer break, students attend English intensive program which partner university provides and learn language and culture (including online programs). This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【Learning Objectives】

This program is open to students with no previous experience of contacting other cultures abroad or those who want to learn English from the beginners' level. Through this program, students will improve their language skills and gain a better understanding of other cultures, thereby acquiring the basic skills to become global human resources. It is hoped that the program will motivate students to take on the challenge of more advanced study abroad, such as long-term study abroad.

【Learning activities outside of classroom】

This will be instructed by each program site. Students should keep records as appropriate so that they can write a final report after the completion of the program.

The total time for preparation and review should be approximately 40 hours.

【Grading Criteria / Policies】

Students will be comprehensively evaluated on the basis of certificate and transcript which should be issued to students who actively participated in the program for the entire period and the content of the final report, and the members of the committee of Global Education Center will discuss whether they can earn credits. Based on the evaluation results, the faculty committee of the faculties to which the students belong will determine whether they can earn credits. Students who wish to earn credits must apply to the Global Education Center in advance.

The number of credits and whether or not they can be counted as graduation credits vary depending on the faculty, so make sure to check with the faculty beforehand. (Course registration and grading for the program will be done in the semester following the participation.)

OTR900LF（その他 / Others 900）

夏季短期語学研修（朝鮮語）

松本 悟

開講時期：サマーセッション/Summer Session | 単位数：単位
科目名（英語）：Summer Intensive Language Course(Korean)
曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses
備考（履修条件等）：
その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、朝鮮語圏の本学協定大学および付属の外国語教育機関が提供するプログラム（オンラインプログラムを含む）に参加して、朝鮮語学習および異文化体験学習を行う。学生はプログラム内の学習において、朝鮮語運用能力を高めると同時に、プログラム外においても実践的に朝鮮語力を応用し、異文化を実体験することにより、異文化理解力を育てることを目的とする。

【到達目標】

この研修は朝鮮語学習初級者および海外渡航経験のない学生も参加が可能であり、学生はこの研修を通し語学能力を向上させ、異文化への理解を高めることにより、グローバル人材としての基礎的な素養を身に付ける。さらに長期留学等、より高度な留学にチャレンジする動機付けとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

短期語学研修の参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。プログラムには、2週間以上に亘る週20時間以上の語学と文化体験が含まれ、ブレースメントテストによって初級から上級までのレベルごとに分けられたクラスで学習する。研修参加後は研修報告書を作成し、研修中の学習面や生活面に関して学んだことや気付いたことをまとめて報告し、アンケートに回答する。提出された研修報告書に対して適切なフィードバックが行われる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1～2回	事前オリエンテーション（1～2回の実施）	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。朝鮮語でコミュニケーションを取ることに慣れるトレーニングを行う。
第3～14回	語学研修への参加	各自、研修先にて週20時間以上の語学と文化体験を学習しながら、実践的な語学力の活用および文化を実体験する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。また、プログラム終了後、速やかに研修報告書をまとめられるように、適宜記録をとっておく。準備・復習時間は合計40時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加したことにより、研修先から発行される修了証、成績証明書および研修報告書の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】

（オンラインプログラムの場合）オンラインでの通信環境およびOfficeソフト等による資料作成が可能なパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。

3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

During the summer break, students attend Korean intensive program which partner university provides and learn language and culture (including online programs). This program aims to develop global awareness and cross-cultural understanding by improving students' language proficiency and additionally using the language in a practical manner during their stay.

【Learning Objectives】

This program is open to students with no previous experience of contacting other cultures abroad or those who want to learn Korean from the beginners' level. Through this program, students will improve their language skills and gain a better understanding of other cultures, thereby acquiring the basic skills to become global human resources.

It is hoped that the program will motivate students to take on the challenge of more advanced study abroad, such as long-term study abroad.

【Learning activities outside of classroom】

This will be instructed by each program site. Students should keep records as appropriate so that they can write a final report after the completion of the program.

The total time for preparation and review should be approximately 40 hours.

【Grading Criteria / Policies】

Students will be comprehensively evaluated on the basis of certificate and transcript which should be issued to students who actively participated in the program for the entire period and the content of the final report, and the members of the committee of Global Education Center will discuss whether they can earn credits. Based on the evaluation results, the faculty committee of the faculties to which the students belong will determine whether they can earn credits. Students who wish to earn credits must apply to the Global Education Center in advance.

The number of credits and whether or not they can be counted as graduation credits vary depending on the faculty, so make sure to check with the faculty beforehand. (Course registration and grading for the program will be done in the semester following the participation.)

OTR900LF（その他 / Others 900）

夏季国際インターンシップ

松本 悟

開講時期：サマーセッション/Summer Session | 単位数：1 単位

科目名（英語）：International Internship (Summer)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、国外の本学協定校、民間企業、NGO 団体に赴任し、2 週間から 4 週間程度の実務に関わる現場研修プログラム（オンラインプログラムを含む）を行う。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なのかを考える能力を身に付けることを目的とする。詳細はグローバル教育センター HP (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) にて確認すること。

【到達目標】

本コース修了時までに、学生は国際ビジネス／教育／協力等の分野・構造・意義・課題に対する理解を深め、その知見を深化させるとともに、実践的な問題解決能力を習得することが期待される。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップ／ボランティアの参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。また学生は実践的な語学力の向上、ビジネスマナーの理解、研修先（国）の文化・歴史・宗教・習慣等に関する理解を深めることに努める。プログラムでは、研修先にて事前・事後研修を含んで約 1 週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計 60 時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。研修参加後は研修報告書を作成するとともに、事後報告会では他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、国際学生活動支援プロジェクト担当教員からフィードバックを受ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第 1 回	事前オリエンテーション	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。研修参加の目的・達成目標を言語化し、研修中に取り組む課題についてブラッシュアップを図る。
第 2～13 回	プログラムへの参加	各自、研修先にて事前・事後研修を含んで約 1 週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計 60 時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。
第 14 回	事後報告会	設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。また他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、多様なフィードバックを得る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。プログラム参加前には、研修期間中に自身で取り組む課題を設定すると同時に、研修先（国・地域）、受入先（企業・団体）の文化・歴史・宗教・習慣等と業務内容・職務特性について情報収集し項目別にまとめておく。プログラム終了後は、設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。事後報告会については、場合により共同報告を行うため、他の参加者とも情報交換をしながら準備を進める。準備時間は合計 10 時間、復習時間は合計 5 時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加することで研修先から発行される修了証と、研修報告書および事後報告会の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022 年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として 60 単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

Students will be assigned to an our partner university, a private company or NGO outside of Japan during the spring break for two to four weeks of practical field training, including online training programs. Through this experience, students will acquire the ability to think about how they should apply the knowledge they have acquired in their studies to international society and what is necessary for them in the future.

Please check the Global Education Center website (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) for details.

【Learning Objectives】

At the end of the course, students are expected to gain an understanding of the field, structure, significance, and challenges of international business, deepen their understanding of international business, and acquire practical problem-solving skills.

【Learning activities outside of classroom】

At least 10 hours of preparation and at least 5 hours of review are required for the activities. Prior to the implementation of the program, set the tasks to be tackled through the program, and at the same time, organize in an itemized form what you have researched in advance about the characteristics of the country (region), the host company (organization), and the type of work and duties. During the program, students should summarize their daily activities by item. At the end of the program, students will submit a report on their activities, summarizing the status of their achievement of the set tasks (results), future tasks and specific ways to overcome them, and post-program surveys and research on their interests gained through the activities.

【Grading Criteria / Policies】

In the International Student Activity Support Project, the Global Education Center decides whether or not the student deserves credit based on a comprehensive evaluation of the certificate issued by the host company or organization, the content of the activity report, and participation in the reflection seminar. Based on the results of the evaluation, the faculty committee will decide whether the student deserves credit.

OTR900LF（その他 / Others 900）

夏季国際ボランティア

松本 悟

開講時期：サマーセッション/Summer Session | 単位数：1 単位

科目名（英語）：International Volunteer (Summer)

曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

夏季休暇中に、NGO 団体や本学の協定校で行われるボランティア活動（オンラインプログラムを含む）に参加し、現地で必要とされている支援活動に携わる。この経験を通じて、これまでの学修で得た知識を国際的な社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要なのかを考える能力を身に付けることを目的とする。詳細はグローバル教育センター HP (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) にて確認すること。

【到達目標】

本コース修了時までに、学生は国際ビジネス／教育／協力等の分野・構造・意義・課題に対する理解を深め、その知見を深化させるとともに、実践的な問題解決能力を習得することが期待される。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

【授業の進め方と方法】

国際インターンシップ／ボランティアの参加に先立ち、事前オリエンテーションへの出席を必須とする。事前オリエンテーションでは参加までに必要な手続き、研修先の情報、危機管理、単位認定等、参加にあたって必ず知っておくべき情報を学ぶ。また学生は実践的な語学力の向上、ビジネスマナーの理解、研修先（国）の文化・歴史・宗教・習慣等に関する理解を深めることに努める。プログラムでは、研修先にて事前・事後研修を含んで約1週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計60時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。研修参加後は研修報告書を作成するとともに、事後報告会では他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、国際学生活動支援プロジェクト担当教員からフィードバックを受ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：

回	テーマ	内容
第1回	事前オリエンテーション	研修の心構え、事前準備、単位認定、研修先情報、海外危機管理情報（現地渡航プログラムの場合のみ）等について学習・把握する。研修参加の目的・達成目標を言語化し、研修中に取り組む課題についてブラッシュアップを図る。
第2～13回	プログラムへの参加	各自、研修先にて事前・事後研修を含んで約1週間以上のインターンシップ／ボランティア活動に取り組み、合計60時間以上、国際ビジネス／教育／協力の現場を実体験する。
第14回	事後報告会	設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。また他参加者と報告し合い意見交換を行うことで、客観的に振り返るとともに、多様なフィードバックを得る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各研修先によって指示される。プログラム参加前には、研修期間中に自身で取り組む課題を設定すると同時に、研修先（国・地域）、受入先（企業・団体）の文化・歴史・宗教・習慣等と業務内容・職務特性について情報収集し項目別にまとめておく。プログラム終了後は、設定した目的・達成目標に対する到達度を振り返り研修報告書にまとめる。事後報告会については、場合により共同報告を行うため、他の参加者とも情報交換をしながら準備を進める。準備時間は合計10時間、復習時間は合計5時間を目安とする。

【テキスト（教科書）】

各研修先によって指示される。

【参考書】

各研修先によって指示される。

【成績評価の方法と基準】

各プログラムに全日程に渡り積極的に参加することで研修先から発行される修了証と、研修報告書および事後報告会の内容等を総合的に鑑みて評価し、グローバル教育センター会議にて単位認定に値するかを判断する。その結果を踏まえ、学生が所属する学部教授会にて単位認定について審議する。単位認定を希望する場合には必ず事前にグローバル教育センターへの申込が必要。なお、単位数及び卒業所要単位としての単位認定の可否は学部により取扱いが異なるため、事前に所属学部を確認すること。（参加した次の学期に履修登録、成績評価がなされる。）

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

ノートパソコン

【その他の重要事項】

1. 大学は、研修参加に際しての各種手続きに対し全般的なサポートを行うが、参加にあたっては学生各自の主体性が求められる。
2. オフィスアワーについてはグローバル教育センター開室時間に対応する。
3. 2022年度以降、オンライン授業については、卒業所要単位として60単位を超えて履修することができなくなるが、本研修は実施形態（対面／オンライン）にかかわらず、この対象には含まれない。

【Outline (in English)】

Students will participate in volunteer activities (including online programs) conducted by NGOs and our partner universities during the spring break and engage in support activities needed locally. Through this experience, the program aims to help students acquire the ability to think about how they should apply the knowledge they have gained through their academic studies in an international society and what is necessary for them in the future.

Please check the Global Education Center website (<https://www.global.hosei.ac.jp/>) for details.

【Learning Objectives】

Students will immerse themselves in the field of international volunteerism, gain an understanding of the structure, significance, and challenges of the program, deepen their understanding of international volunteerism, and acquire practical problem-solving skills.

【Learning activities outside of classroom】

At least 10 hours of preparation and at least 5 hours of review are required for the activities. Prior to the implementation of the program, set the tasks to be tackled through the program, and at the same time, organize in an itemized form what you have researched in advance about the characteristics of the country (region), the host company (organization), and the type of work and duties. During the program, students should summarize their daily activities by item. At the end of the program, students will submit a report on their activities, summarizing the status of their achievement of the set tasks (results), future tasks and specific ways to overcome them, and post-program surveys and research on their interests gained through the activities.

【Grading Criteria / Policies】

In the International Student Activity Support Project, the Global Education Center decides whether or not the student deserves credit based on a comprehensive evaluation of the certificate issued by the host company or organization, the content of the activity report, and participation in the reflection seminar. Based on the results of the evaluation, the faculty committee will decide whether the student deserves credit.

